

ASAHI

ASAHI 企業キャラクター  
ピーロークラムパー



NEW

MANUAL CLAMPER

# リニアブレーキ

RBH 手動クランパー

低  
コスト

ワン  
タッチ

現場で  
確認

NEW

サイズラインアップ増えました!  
#15~#45対応



## 特長

- 1 ゼロバックラッシュ構造**  
クランプ部と戻しばね機能を兼ね備えたボディー
- 2 クランプ状態 見える化**  
レバーを起こしてクランプOFF レバーを倒してクランプON
- 3 簡単操作**  
ワンタッチレバーで簡単にクランプ&解放
- 4 省スペース**  
エア式リニアブレーキより大幅にコンパクト

Click!

タブレット



スマートフォン



製品本体のQRコードより取扱い説明書をご覧になれます  
実際にこのリーフレットで体験下さい

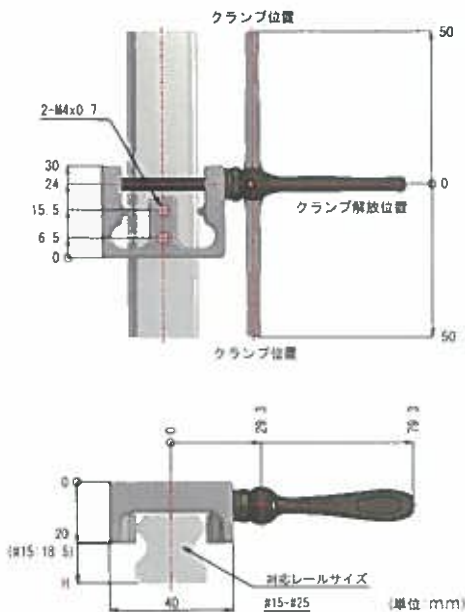
※機種・アプリにより認識しにくい場合がございます



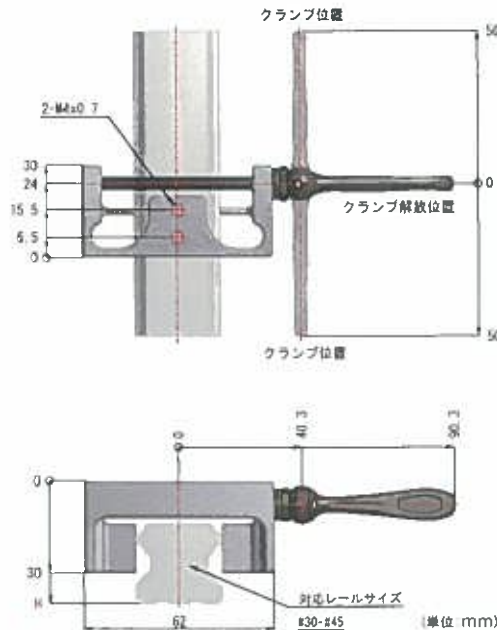
旭精工株式会社

# 本体寸法および保持力

## RBH15-25

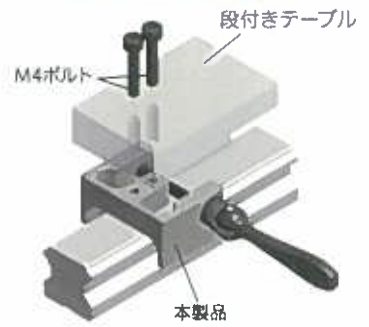


## RBH30-45

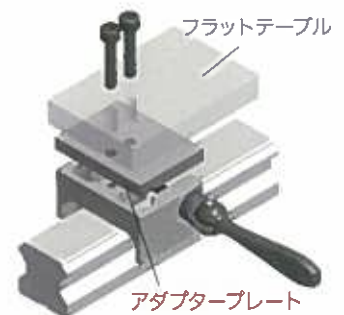


# 取付例

テーブルを段付きにした場合  
アダプタープレートは不要です



テーブルをフラットにした場合  
アダプタープレートは必要です



	THK	IKO	NSK	H (mm)	概算質量 (g)	定格保持力(N)
#15 RBH15XXX	SHS SR	-	NS	22.5	79	400
	HSR	LWE LWH	NH	24		
#20 RBH20XXX	SR	-	NS	26.5	88	
	SHS	-	-	27		
	HSR	LWH	NH	28.5		
#25 RBH25XXX	SR	-	NS	28.5	85	
	-	LWE	-	30		
	SHS	-	-	31.5		
#30 RBH30XXX	SHS SR	-	NS	36	140	
	HSR	-	NH	40		
	-	LWE LWH	-	42		
#35 RBH35XXX	SHS	-	-	40	138	
	HSR SR	LWE LWH	NS NH	42		
#45 RBH45XXX	SHS	-	-	46	135	
	-	LWE LWH	-	48		
	SR	-	-	50		
	HSR	-	NH	52		

- ※ 保持力とは無負荷時に手動クランパーを保持させた時、レールの長手方向に作用する静荷重です。
- ※ レールや摩擦板の状態がグリースや摩耗粉によりクリーンでない場合は定格保持力より約50%程度保持力が低下することがあります。その際はレールや摩擦板をクリーンな状態にしてください。
- ※ 定格保持力が出ない場合は隙間調整を行って下さい。

# 呼び番号



- ※ MHはLWH、MEはLWEにて対応
- ※ LHはNH、LSはNSにて対応
- ※ #45については、NS未対応
- ※ 上記以外のレールはお問合せ下さい。

表記例)レールサイズ:25、レール種類:SHS

RBH 25 SHS

## ご使用前に

取扱説明書・保証についてはエアクラッチ・ブレーキ総合カタログをご参照ください。 ※QRコードよりご覧頂けます。

Click!

総合カタログ 取扱説明書



# 旭精工株式会社

本社・工場

〒593-8324 大阪府堺市西区鳳東町6丁570番地1

TEL (072)271-1221(代表)  
TEL (072)271-2766(ダイヤルイン)  
FAX (072)271-1174  
E-mail lm@asahiseiko.co.jp  
URL http://www.asahiseiko.co.jp

旭精工 エアブレーキ 検索

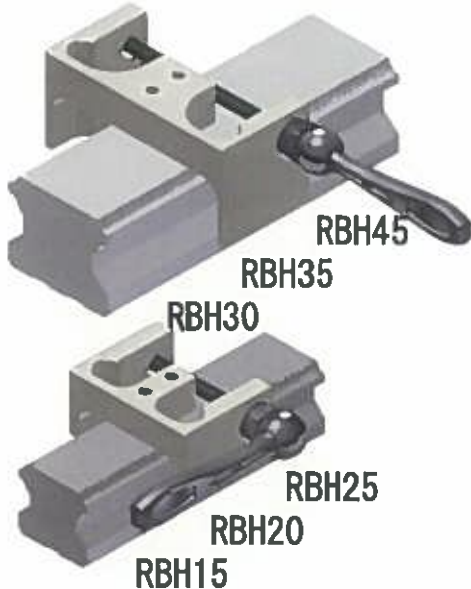
事業所

東京支社 (03) 3471-9441  
名古屋支社 (052) 211-3001  
大阪支社 (06) 6583-3731  
西日本支社 (093) 873-0801  
北日本支店 (022) 283-1431  
広島支店 (082) 244-2730

## 手動クランパー 取扱説明書

### リニアブレーキ

### RBH形



呼び番号 RBH15, RBH20, RBH25, RBH30, RBH35, RBH45

もくじ		ページ数
1. 安全上のご注意	.....	2
2. 使用上のお願い	.....	2
3. 各部の名称・寸法	.....	2
4. 取付方法	.....	3
5. 保守・メンテナンス	.....	3
6. トラブルシューティング	.....	4
7. 保証	.....	4

このたびは、旭精工製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

危険

手動クランパーを解放する前に荷重を支えて下さい。荷重を支えなかった場合、重大な事故又は死亡につながる可能性があります。

危険

- ・取付及び運転前に取扱説明書を熟読して下さい。
- ・取扱説明書の指示に従い、このユニットを貴社のシステムの中に慎重に組み立て下さい。
- ・不適切な取付は貴社のシステムを損傷し、怪我・死亡を引き起こす可能性があります。該当する全ての決まりに従って下さい。

また、分解はしないで下さい。修理及び部品交換の際は、旭精工へ販売店等を通し、ご返却下さい。(有償となります。)

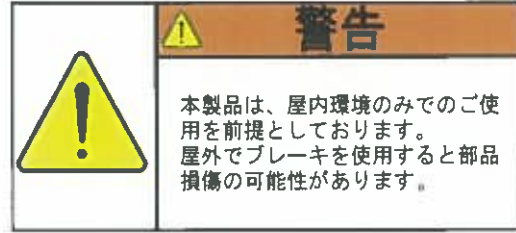
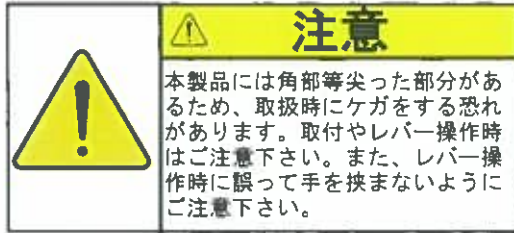
注) 旭精工の製品は常に改善する既定方針に基づき、取扱説明書に含まれる仕様は予告なしに変更することがあります。

また、取扱説明書に記載する技術情報は、印刷された時点で入手可能な最新情報であり、仕様と同様に予告なしに変更することがあります。

最新情報につきましては、旭精工HP (<http://www.asahiseiko.co.jp>) にアクセス頂き、ご確認ください。



## 1. 安全上のご注意

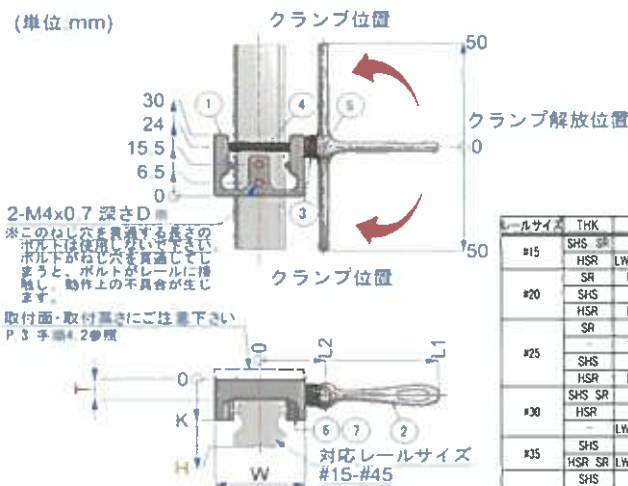


## 2. 使用上のお願い

- 2.1 ご使用の前に、本取扱説明書を熟読下さい。保証につきましては、P.4をご参照下さい。
- 2.2 ご使用の直動ガイドメーカーの取扱説明書及びカタログを熟読し、レールがクリーンな状態で本製品をご使用下さい。
- 2.3 本製品は保持用ブレーキです。制動用としての使用は、本製品が破損する恐れがあるだけでなく、大変危険ですので絶対にお止め下さい。
- 2.4 クランプ又はクランプ解放する際は、特にZ軸方向で使用する場合においては、レバー操作中に自重により落下する恐れがあり大変危険ですので、必ず本製品を支持する等で落下防止をした上で行って下さい。
- 2.5 クランプ又はクランプ解放する際は、レバーをハンマーで叩いたり、足で蹴ったりするような操作は行わないで下さい。本製品が破損する恐れがあります。
- 2.6 停止位置を変える際、レバーを持ちながらの移動はお止め下さい。手を挟んでケガをしたり、完全にクランプ解放していない状態での移動による摩擦により、製品寿命が短くなる恐れがあります。
- 2.7 レバーを操作してクランプする際、レバーを4.18N・m以下の回転トルクで下図のクランプ位置まで押して下さい。この値を超えたトルクで使用しますと、本製品が破損する恐れがあります。
- 2.8 保持力サイクル(製品)寿命は10万回※です。ただし、この回数は保持力低下により、調整ナットによる隙間量調整を行った累計回数となっております。また、レール状態や衝撃荷重、振動、またはレバー操作不良により、完全にクランプ解放していない状態で使用し続けた場合、上記の回数を満たさない可能性があります。
- 2.9 本製品の製品寿命は、保持力低下により、調整ナットによる隙間量の再調整を行っても定格保持力が出なくなった状態、又は部品に変形や損傷が生じた状態としております。

※ 当社での試験データによる

## 3. 各部品の名称・寸法



図番	部品名	数量	修理対応可能部	材質
1	ボディー	1	○	ステンレス鋼
2	レバー	1	○	ステンレス鋼
3	調整ナット	1	○	合金鋼
4	ピン	1	○	合金鋼
5	潤滑油ピン	1	○	合金鋼
6	止めねじ(M4)	1	○	合金鋼
7	スペーサ(鋼球)	1	○	ステンレス鋼

表1 構成部品一覧

レールサイズ	THK	IKO	NSK	H(mm)	St(mm)	K(mm)	W(mm)	L1(mm)	L2(mm)	定格保持力(N)
#15	SHS SR	-	NS	22.5	11.5	18.5				400※1
	HSR LWL LWH	NH	24							
	SR	LWE NS	26.5							
#20	SHS	-	-	27	18	20	40	29.3	79.3	400※1
	HSR	LWH	NH	28.5						
	SR	-	NS	28.5						
#25	SHS	-	-	31.5	18	20	40	29.3	79.3	400※1
	HSR	LWH	NH	33						
	SHS SR	-	NS	36						
#30	SHS	-	-	40	12	30	50	49.3	99.3	400※1
	HSR	-	NH	42						
	-	LWE LWH	-	42						
#35	SHS	-	-	46	12	30	50	49.3	99.3	400※1
	HSR SR	LWE LWH	NS NH	42						
	SHS	-	-	46						
#45	-	LWE LWH	-	48	12	30	50	49.3	99.3	400※1
	SR	-	-	50						
	HSR	-	NH	52						

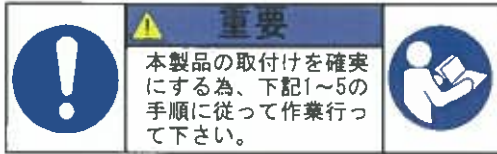
※1 レールや駆動部の状態がグリスや塵埃によりクリーンでない場合は、定格保持力より約50%程度低下することがあります。また、レールの種類によっても保持力が低下することがあります。

図1 構造図

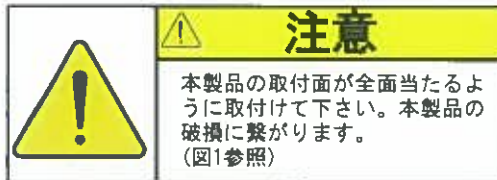
表2 D寸法及びH寸法一覧

## 4. 取付方法

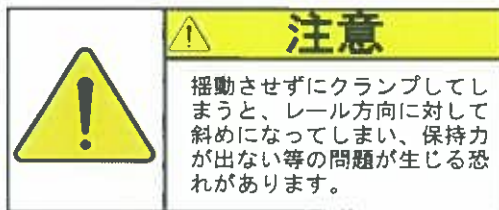
- 必要部品 (●記載物は全てお客様でご用意下さい)
  - ・M4六角穴付ボルト：取付用ボルト
  - ※ボルト長さ注意 (P.2 図1参照)
  - ・テーブル：取付用プレート
  - ・アダプタープレート：取付高さ調整用
  - ※アダプタープレートはあくまでP.2 表2記載の取付高さに調整する為のものである為、テーブルを段付きにする等に対応した場合は不要です。(図2参照)
- 必要工具
  - ・六角レンチ：M4六角穴付ボルト用



- レバーを直動レール方向から90度の位置まで操作し、ブレーキを解放して下さい。(P.2 図1クランプ解放位置参照)
- 表2を参照し、H寸法になるように本製品を取付けて下さい。(図2参照)



- 所定の位置に取付けられたら、M4ボルトで軽く動く程度に仮締めして下さい。(図3参照)
- 本製品をレール上で揺動させながらレバーを操作し、クランプして下さい。  
※揺動させながらクランプしていくことで、本製品の中心位置がレール中心位置に寄ります。(図3参照)



- クランプした状態で、手順4.3 で仮締めしたM4ボルトを締めトルク3.6 N・mにて本締めして下さい。



## 5. 保守・メンテナンス

- 少しでも長くお使い頂く為に、半年に1度、又は1万回使用ごとにメンテナンスとして下記項目を実施することを推奨致します。

- 1 レールが劣化したグリースや摩耗粉により汚れていると、保持力が低下する恐れがありますので、直動ガイドメーカーの取扱説明書及びカタログを熟読し、記載内容に従ってレールをクリーンな状態にして下さい。

- 2 本製品のレバー、調整ナット、溝付きピンは消耗部品となっています。新品時、摩擦部は潤滑剤が塗布されています。しかし、長期間使用すると次第に潤滑切れが生じ、摩耗が進んでいきます。摩耗によりレバーのテンションが緩くなることで保持力が低下していき消耗部品の破損に繋がりますので、摩耗部の定期的な潤滑(5.2.5参照)や調整ナットによる再調整を行って下さい。

- 2 再調整方法
  - 必要工具： スパナ (2面幅10mm調整ナット用) 六角レンチ (M4止めねじ用)

- 2.1 レバー、調整ナット部分の摩耗粉等による汚れを除去して下さい。

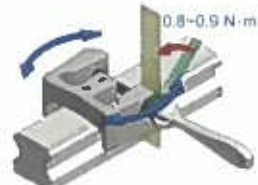
- 2.2 レバーを操作して、ブレーキを解放して下さい。(図2参照)

- 2.3 本製品の裏面に止めねじが取付けられていますので、六角レンチで緩めて下さい。  
※止めねじを緩めることで調整ナットが回せるようになります。



- ※止めねじと調整ナットとの間にはスペーサ(鋼球)が入っているため、脱落にご注意下さい。

- 2.4 本製品をレール上で右図青矢印の方向へ揺動させながら、調整ナットをスパナにてトルク0.8~0.9 N・mで反時計回りに回し、本製品がレールに接触して隙間が無くなった位置から調整ナットを時計回りに180度回して下さい。



- ※調整ナットを反時計回りに回すとレバーが引っ張られるため、レールとの隙間が小さくなっていきます。

- ※調整ナットを180度回すまでの目安として、調整ナットを時計回りに回す前にマーカでマーキングしておき、マーキング位置から180度回す方法を推奨致します。



- 2.5 レバーと調整ナットの接触部分に極圧性の高い潤滑剤を適量塗布して下さい。

使用潤滑剤	スズキ機工株式会社製 LSベルハンマー
推奨潤滑剤	

- 2.6 本製品をレールから取外し、手順5.2.3で緩めた止めねじを締めトルク1.8N・mで締め付けて下さい。

- 2.7 レバーの回転トルクが4.18N・m以下になっていることを確認して下さい。

## 6.トラブルシューティング

こんなときは	ここを確認！
定格保持力が出ない	・ レールが劣化したグリースや摩耗粉等で汚れていませんか？ →ウエス等で綺麗に拭き取って下さい。
	・ 隙間量の調整を行いましたか？ →使用し続けていると、摩耗により隙間量が大きくなっている恐れがあるため、再調整を行って下さい。
	・ 本製品の取付は、本書に沿って適切に行いましたか？ →レールによって取付高さが異なっていたり、取付が斜めになっていたりとすると、保持力が低下する恐れがありますので、取付状態の確認を行って下さい。
レバーのテンションが緩い	・ 隙間量の調整を行いましたか？ →使用し続けていると摩耗により隙間量が大きくなり、レバーのテンションが緩くなる恐れがあるため、再調整を行って下さい。
レバーが曲がる、折れる	・ 本製品のブレーキを解放し停止位置を変える際、レバーを持ちながら移動させていませんか？ ・ レバーを叩いたり、蹴ったりして操作していませんか？ ・ クランプ時、所定のトルク値を超えた力でレバーを押していませんか？ →「使用上のお願い」⚠の項目を確認して下さい。
上記項目を確認した上でもなお問題が解決しない場合、修理可能部品、又は本製品自体の交換が必要となります。部品の交換は弊社工場にて対応させていただきます。 修理可能部品に関しては、P.2 表1をご参照下さい。	

## 7.保証

### 保証期間

- ・ 購入後、12ヶ月を保証期間とします。

### 保証の範囲

- ・ 保証対象品は当社製造品の納入製品とします。
- ・ 納入製品の保証期間中の故障で、弊社が認めた場合に限り、無償修理及び無償交換します。
- ・ 保証期間終了後の故障修理は有償とします。

### 免責事由

- ・ 保証期間中でも、下記に該当する場合は保証しません。
- ・ カタログ及び取扱説明書によらない取付け、及び使用条件で生じた故障。
- ・ お客様における不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障。
- ・ カタログ及び取扱説明書に指定された消耗部品を正常に交換されていれば、防げたことによる故障。
- ・ 想定外の目的で使用したことによる故障。
- ・ その他、天災災害、テロ、戦争、紛争など不可抗力による故障。

### 損失に対する保証責務の除外

- ・ 納入単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害。
- ・ お客様による交換作業、現地機械設備の再調整、立上げ試運転、その他業務に対する保証。
- ・ 経時変化により、発生する不適合。  
(塗装及びめっき等の自然退色、錆、グリースの劣化、油分の分離等)
- ・ 品質、性能に影響が無いと認められる程度の官能的現象（音、振動）
- ・ 消耗部品を弊社適応製品の形番以外に使用し、故障した場合。

なお、上記保証内容につきましては、予告なしに変更する場合がありますので、最新版は<http://www.asahiseiko.co.jp> にアクセス頂き、下記をご確認下さい。  
製品情報 → 技術情報 → 保証について (精機商品)

# ASAHI

旭精工株式会社 精機技術課

〒593-8324

大阪府堺市西区鳳東町6丁目570番地の1

TEL:072-271-2766

FAX:072-271-1174

URL:<http://www.asahiseiko.co.jp>

E-mail: [lm@asahiseiko.co.jp](mailto:lm@asahiseiko.co.jp)